

## 談話

### 南北首脳会談開催合意を歓迎し、北朝鮮問題の対話による平和解決を求めます

2018年3月9日  
日本婦人団体連合会（婦団連）  
会長 柴田真佐子

今回、南北朝鮮の首脳会談の4月末開催等が合意されたことは、地域の緊張緩和に向けたきわめて重要な動きとして歓迎します。

北朝鮮側は朝鮮半島非核化の意思を明確にし、米国との対話を行う用意があると表明しています。私たちは、米国と北朝鮮との直接対話が、破滅をもたらす戦争を回避し、北朝鮮の核・ミサイル開発問題の平和的解決、朝鮮半島の非核化・恒久平和につながることを期待し、米国と北朝鮮の対話の開始を求めます。

米国のトランプ大統領を含む国際社会がこの動きを歓迎しているにもかかわらず、安倍政権が「対話のための対話は無意味」などと、依然として南北対話の進展を妨害する「圧力外交」の態度をとっているのは異常な対応と言わざるを得ません。

婦団連など100か国以上の女性団体が加盟する国際民主婦人連盟は、1945年の創立以来、女性の権利、子どもの幸せ、恒久平和を共通の目的として活動してきました。朝鮮戦争中には、17か国20人の女性による調査団を戦地に派遣して「国連軍」の名による米軍の戦争犯罪の悲惨な実態を調査・告発し、朝鮮戦争停戦のための国際世論形成に大きな役割を果たしました。婦団連は、国際民主婦人連盟がこうした歴史をもつ国際女性団体として今回の南北対話への動きを歓迎し、朝鮮半島の非核化・恒久平和の実現に貢献することを呼びかけてきました。「戦争は避けなければならない」と、対話による平和的問題解決を求める共感の声が寄せられています。

今回の南北合意を契機に、米国が北朝鮮との対話に踏み出すことを強く求めるとともに、日本政府に対しては、南北の融和と対話への妨害をやめて、北朝鮮問題の平和的解決の促進のために努力することを求めます。